

本田技研工業株式会社安全運転普及本部と四国運転リハプロジェクトが開発
安全に運転能力を確かめ、自己理解が促される実践的評価方法

停止車両評価インストラクター講座'22 in福岡

日時：2022年12月10日(土)12:30~16:30
 場所：久留米ビジネスプラザ (久留米市宮ノ陣4丁目29-11)
 主催：合同会社ラシエイド (徳島県徳島市)
 協力：日本運転リハプロジェクト
 講師：岩佐英志 (認定作業療法士/合同会社ラシエイド代表)
 サポート：國武亜由美 (認定作業療法士/公立八女総合病院)
 末次亮平 (認定作業療法士/嶋田病院)

停止車両評価は、2014年に本田技研工業株式会社安全運転普及本部と共に四国の運転支援をする有志で立ち上げた四国運転リハプロジェクトで考案した「動かさない車で安全に運転能力を確かめる手法」です。病院や施設、ご自宅で実車評価を行うことで、運転感覚をと操作能力を確認しながら課題を抽出することができるため、改造で対応ができるものか、運転免許に定められた基準に整合するものかを体験を通じて認識を共有できるものです。操作感覚が実際の車両であり、速度感覚以外の大まかな運転能力評価を行うことができるため、教習所での実車走行評価の前段階としての活用として導入いただく病院・施設が増えてまいりました。

四国運転リハプロジェクト設立
簡便な運転能力評価方法の確立
地域連携の実践と役割の明確化



2014

四国運転リハプロジェクト
支援ガイドブック作成
停止車両評価普及啓発



2016

日本運転リハプロジェクト設立
運転支援者のための課題解決プラットフォーム
フォーム支援ネットワークの構築



2022

2022年より、四国運転リハプロジェクトから発展した「日本運転リハプロジェクト」として、全国で運転支援に携わる皆様とのネットワークを構築し、課題解決プラットフォームとして活動を展開しております。本田技研工業株式会社安全運転普及本部と活動を重ねることで運転に必要とされる能力の捉え方を運転する行為から分析し、運転シミュレーターが無くとも病院・施設で活用いただくため普及啓発をしています。その一環として、停止車両評価インストラクター講座を開催し、簡便で新しく自己理解の促進が期待される手法を多くの方々にお伝えしていきたいと考えています。

日本運転リハプロジェクトP/L 岩佐英志

停止車両評価とは

停止車両評価

■ 評価尺度 (可・困難・否) で表記する

可 Go 困難 Reha&Adapt 否 Stop

■ 「困難」である場合、何度でも確認できる
(改造支援もしくは能力向上)

■ カットオフ値は設定しない



- ① 環境条件：自動車・平地駐車場2台分
- ② 使用物品：専用スケール推奨 (PREDRシリーズ) ストップウォッチ、目印

停止車両評価インストラクター証

登録番号

氏名

受講者に本カードを発行します

上記の者は弊社と日本運転リハプロジェクトが主催する停止車両評価インストラクター講座を修了し、運転支援において安全に運転能力を評価する技能を有することを証明いたします。

発行：合同会社ラシエイド (徳島県徳島市八万町法花谷282番地1) info@lachiaid.co.jp
 協力：日本運転リハプロジェクト

停止車両評価の項目

<p>乗降動作・運転姿勢</p>	<p>ペダル踏み換え時間 ペダル持続・調整力 0.6-0.75秒</p>	<p>視野角・前方注視</p> <p>視野の確認 (150°以上)</p> <p>車両/位置/方向/距離感覚</p>	<p>可 >10cm 困難 11~20cm 否 車内</p>
<p>各種操作 ウィンカー・ミラー・シート等</p>	<p>ハンドル操作 据切り左右旋回5.0秒以内</p>		

停止車両評価ツール

停止車両評価ツール365 SET
(ハンドル/ペダル/ミラー/シート等)
¥400,000 (税込)

停止車両評価スケール
¥27,500 (税込)

株式会社マネービジネスと業務提携により
Hondaセーフティナビを取り扱っています

合同会社ラシエイド
徳島県徳島市八万町法花谷282番地1
Tel 088-624-9951
E-mail iwasa@lachiaid.co.jp
https://lachiaid.co.jp
https://lachiaid.com

運転支援の考え方



講義：80分

■運転支援の考え方

- ①運転免許の条件と運転能力
- ②運転能力評価（脳卒中／頸髄損傷）
- ③評価（机上／DS／停止車両／実車走行）
- ④福祉車両の導入と改造
- ⑤地域の関係機関との連携

停止車両評価実習

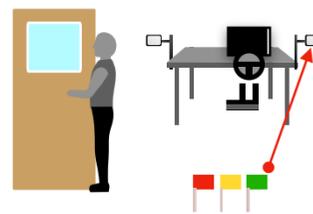


実習：120分

■停止車両評価（実習）

- ①乗降動作と運転姿勢（適切な運転姿勢）
- ②各種操作能力（ハンドル／ペダル／ミラー）
- ③視野と死角の確認
- ④車両感覚の検査（前後左右の8方向）

運転課題とトレーニング等



講義：20分

■運転課題とトレーニング

- ①身体機能（ドア開閉と身体運動）
- ②身体機能（バランス機能と跨ぎ動作）
- ③認知機能（鏡を用いた視覚情報と反応）
- ④実車走行評価のポイント

■お申込方法



088-624-9957



iwasa@lachieaid.co.jp

1

2

お申込はメールかFAXで。ご記入のメールアドレスに確認メールとご請求書（申込み期限は5日前・入金期限は3日前）

事前：6000円（振込手数料は自己負担） 当日：6600円（現金／クレジットカード決済）

当日

資料
領収書

動きやすい服装



停止車両評価
インストラクター証発行

当日のご連絡やご不明な点などありましたらご連絡ください。合同会社ラシエイド 代表 岩佐英志 080-2852-8626

合同会社ラシエイド代表の作業療法士の岩佐英志と申します。本田技研工業株式会社安全運転普及本部と共に立ち上げた四国運転リハプロジェクトで、開発した「停止車両評価」は実践の評価であって、ご本人が運転能力を体験して納得するプロセスを提供する体験でもあります。地域で運転支援に直面する専門職の皆様に、Hondaと共に取り組んで来た運転支援の考え方と実践的な停止車両評価についてお伝えしたいと思っております。オンラインでは伝えきれない実技と評価ポイントや、室内での運転トレーニングや評価方法についても体験いただけます。皆様とお会いできますこと楽しみにしております。

岩佐 英志（認定作業療法士/合同会社ラシエイド代表）



「停止車両評価インストラクター講座」のお申込み

FAX 088-624-9957 必要事項を記入して、このまま送信ください。（お間違えないよう確認ください）

メール iwasa@lachieaid.co.jp 件名にインストラクター講座希望、氏名、所属、職業をご記入ください。

氏名	フリガナ	所属	
メールアドレス (必須)		職業	

日本運転リハプロジェクトについて

■日本運転リハプロジェクトの概要

本プロジェクトは、2014年から本田技研工業株式会社安全運転普及本部と共に活動をはじめた四国運転リハプロジェクトを母体に2022年1月に発足したネットワークです。障がい者の運転支援に関わるすべての方にご参加いただき、ご本人の運転リハビリテーションの推進に向けた情報共有と、運転支援に関わる関係機関との連携、幅広い移動手段や就労に向けた支援方法の共有などさまざま運転支援に関わる課題を会見するプラットフォームの構築とメンバー間の連携ネットワークの構築、自らの課題に対する主体的な解決に向けた互助活動を行うことを目的としております。

参加に対する規定として、運転支援を行う方であればどなたでも参加可能で、既に医療職をはじめとする約50名（令和4年9月末）の方にご参加いただいております。運営は、オンラインとなりますので、環境を整えてご参加いただければと考えており、特に参加費などの徴収はありません。

是非とも趣旨をおくみ取りいただき、本会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

日本運転リハプロジェクトP/L 岩佐英志（認定作業療法士）
所属 合同会社ラシエイド 代表

本田技研工業株式会社安全運転普及本部





2014

四国運転リハプロジェクト設立

2017

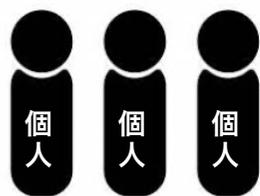
停止車両評価&
ガイドブック作成

2019

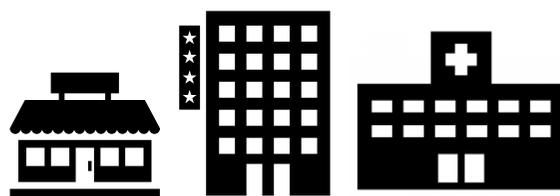
停止車両評価イン
ストラクター

2022

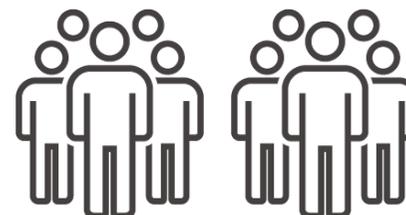
日本運転リハ
プロジェクト始動



実践的な運転リハに
携わる専門職



病院・施設・企業



OT士会等の職能団体



本田技研工業株式会社
安全運転普及本部

地域課題

- ①運転できないと生活できない
- ②病院ごとに支援が異なる
- ③継続した課題解決を図れる機会や場が求められている

何とかしたい！



<p>設立の 背景と狙い</p>	<p>支援現場では、</p> <ul style="list-style-type: none">■自動車運転再開に向けた相談が依然として継続発生■協会を含めた他機関が高次脳機能障がいへの支援を展開、活動が一定の成果を示し、各団体傘下へ指針等共有される■一方、支援現場課題の解決は未だ見い出せずにいる■支援現場では、継続した課題解決を図れる機会や場が求められている <p><u>支援現場への、継続した課題解決等図る機会や場が必要</u></p>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none">■全国単位で運転支援を実践的に考える場と機会の創出■運転支援に関する地域連携の確立するための実践と普及啓発
<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none">▪支援現場のための課題解決等プラットフォーム▪参加者提案型コンテンツの創出と進行(言い出しっぺが主役)▪参加者同士のネットワーク化(地域プロジェクト創出のきっかけづくり)

運転リハプロジェクトの現状

予想される継続した課題

自動車運転に関する支援

所属/地域/他機関との連携

課題解決を図れる機会や場の継続

日本運転リハプロジェクトの進化の方向性

課題解決プラットフォーム化

チャレンジした経験や知識はシェアする！＝地域を巻き込む

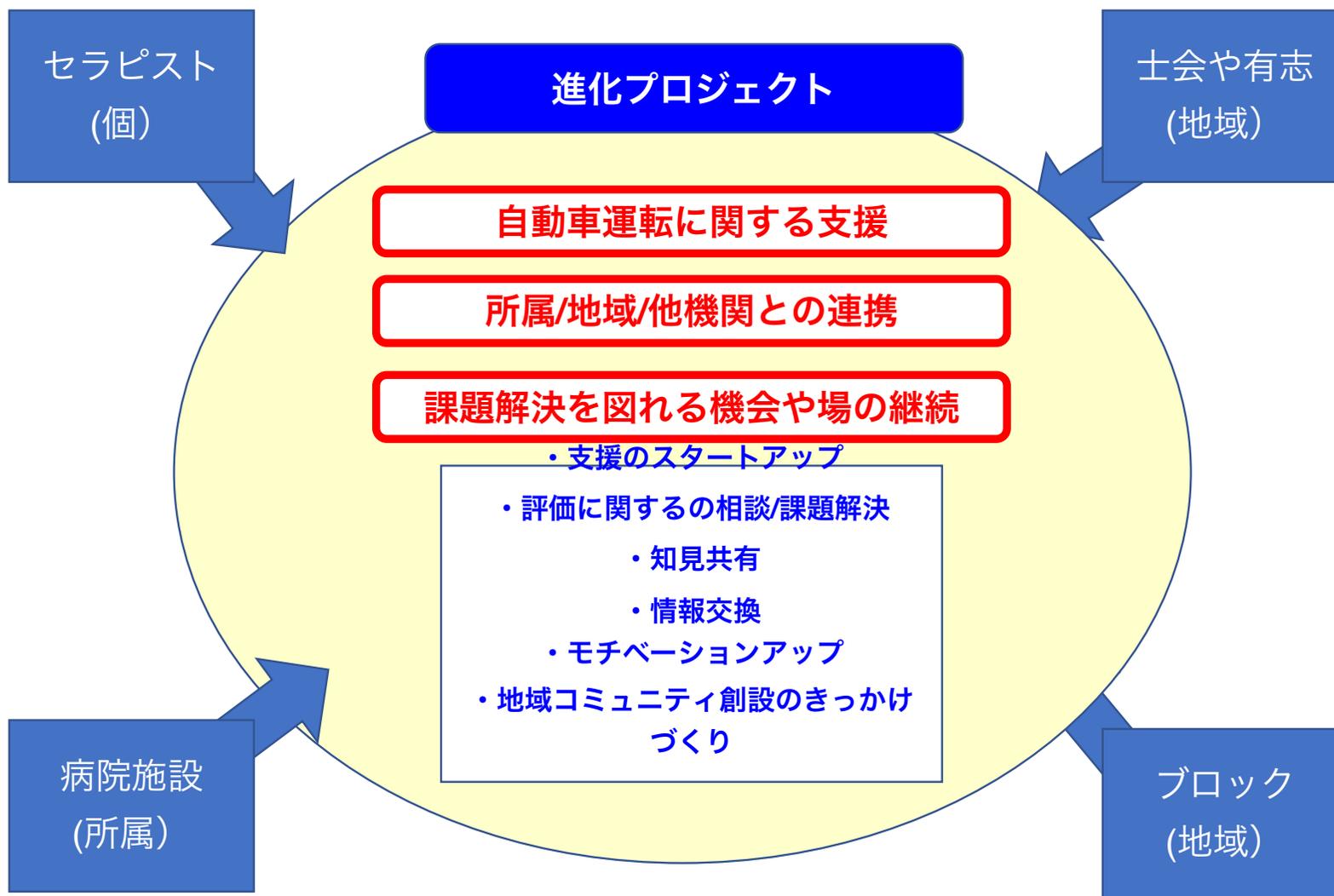
参加者提案型コンテンツ(WG)での実践型課題解決

言い出しっぺがテーマ別プロジェクトリーダーです！

参加者同士のネットワーク化

日本運転リハプロジェクトは全国のネットワークに！

日本運転リハプロジェクトの在りたい姿



日本運転リハプロジェクト運営と年間計画



対象

運転支援に関わる専門職等



案内

メール配信（参加確認：調整さん）



年会費

無料（有料研修別途あり）



開催方法

リモート会議（Zoom）

2022活動予定	1月26日	2月	3月	4月27日	5月	6月	7月27日	8月	9月	10月26日	11月	12月
日本運転RP	KickOff 第1回 会議		JDRP 運営会議	第2回 会議		JDRP 運営会議	第3回 会議		JDRP 運営会議	第4回 会議	JDRP 運営会議	



第4回日本運転リハプロジェクト

2022/10/26 19:00~
on line

時刻	所要 (分)	項目	内容	進行	備考
19:00開始					
19:00~	5	オープニング	・開会挨拶	岩佐/塚本	1) 開催: Zoom (リモート会議) 2) 記録: Zoomは録画、 議事録とします。 3) 自己紹介: 氏名/所属 /運転リハで抱える課題/ 特技など
19:05~	25	自己紹介&現状報告	・自己紹介 (新規参加者は自己紹介!) ※遅れて参加される方は後半に発言 ・情報提供 ・二輪車の停止車両評価の新WGの紹介 (塚本/出原)	岩佐	
19:30~	45	各ワーキング (ブレイクアウトルーム) ※参加は自由です。 ※早くまとまったグループは他の グループに途中参加可能です。	①運転再開の文献レビューWG ②地域連携WG ③シミュレーターWG ④停止車両評価WG ⑤二輪車の停止車両評価WG+カート等WG ※電動カートと農業WGとを合わせます	各ワーキング	
20:15~	40	全体共有&意見交換	各ワーキング代表者 (発表5分×5+質疑)	各WG	
20:50~	5	インフォメーション 次回日程の確認	記念写真 (スクショ)	撮影指示: 鍵野 総括: 岩佐/塚本	
20:55 終了					